中央省庁の障害者雇用状況に関する調査票

問１　以下の基本情報を教えてください。

（１）年代：10代　20代　30代　40代　50代　60代

（２）性別：男性　女性　その他　回答したくない

（３）障害：視覚（弱視・全盲）、聴覚、上肢（片上肢・両上肢）、下肢（片下肢、両下肢）、体幹、内部（心臓・じん臓、呼吸器、消化器、免疫、肝臓）、知的、精神、その他（　　　　）

（４）手帳：身体障害者手帳（　　種　　級）

　　　　　　療育・愛の手帳（　　　　　）

　　　　　　精神保健福祉手帳（　　　級）

（５）働くために必要な配慮

|  |
| --- |
| 自由記載～可能であれば具体的状況をご記入ください。～  例　点字、音声ソフト、手話通訳、文字通訳、介助・支援者、段差解消、障害者用トイレ、駐車場、勤務体制、休憩時間・場所　等々 |

（６）働いている期間（働いていた期間）

　6カ月未満　1年未満　2年未満　3年未満　5年未満　10年未満　10年以上

注）離職している方は、以下の質問は、離職時の状況を教えてください。

（７）現在の仕事に対する意欲

　　働き続けたい　離職を考えている　離職した　その他

|  |
| --- |
| 自由記載  例・職場の上司も同僚も障害に対する理解がある。（理解がない）  ・仕事が任されている。（仕事を任せてくれない）（仕事がない）  ・以前の職場の方が働きやすかった。  ・次の職場が見つかれば転職したい。等々 |

問２　採用試験では、障害に必要な配慮が提供されましたか。

配慮された　別の方法で配慮された　配慮されなかった

|  |
| --- |
| 自由記載～可能であれば具体的状況をご記入ください。～  例・応募窓口に問い合わせて駐車場が確保された（配慮されなかった）  ・手話通訳を希望したが文字通訳が配置された（代替え手段は提案されなかった）  ・配慮にあたっては、自分の意向を確認された（確認されなかった）等々 |

問３　以下の職場の状況を教えてください。

（１）機関名：

　　　　例　財務省、税務署、国税局、法務省、法務局、運輸局、職安　等

（２）勤務機関の所在都道府県または政令市：

（３）担当している業務内容：

　　　　例　一般事務、会計・経理業務、集配、わからない、特にない　等

問４　障害を理由とした仕事の悩みを相談する窓口はありますか。

　　　ある　　ない　　わからない

　　　注・「ある」と回答した場合は問５へ

　　　　 ・「ない」「わからない」と答えた場合は問６へ

問５　相談窓口は頼りになりますか。

　とても頼りになる　頼りになる　頼りにならない　全く頼りにならない

問６　障害に応じた配慮について教えてください。

　十分配慮されている　配慮されている　不十分だが配慮されている

配慮されていない

|  |
| --- |
| 自由記載～可能であれば具体的状況をご記入ください。～  例・会議や研修等で手話通訳が配置されている（配置されていない）  　・会議会場等がバリアフリーでない場合は移動のための人手が確保されている等々 |

問７　障害に応じた配慮を確保するために意向は確認されましたか

　　　確認された　確認されなかった　その他（　　　　　　　　　　　）

問８　担当している仕事（業務）の満足度について教えてください。

　とても満足している　　満足している　　満足していない　　とても不満

|  |
| --- |
| 自由記載～可能であれば具体的状況をご記入ください。～  例・責任ある仕事を担当できている（上司に任せる仕事がないと言われた）  ・一緒に仕事をしようと励まされた（障害者は欠員だといわれた）等々 |

問９　職場の上司及び同僚との人間関係の状況について教えてください。

　とても良好　　良好　あまり良好ではない　良好でない　　悪い

|  |
| --- |
| 自由記載～可能であれば具体的状況をご記入ください。～  例・理解と協力してもらっている（障害を理解しようとしてくれない）  　・相談できる雰囲気がある（職場では孤立していると感じる）等々 |

問10　今の職場の状況や職務内容等、自由なご意見等を教えてください。

|  |
| --- |
| 自由記載 |